

庁舎建設特別委員会視察報告

委員長 景山孝志

本委員会は、昨年六月二十二日開催の第二回奥出雲町議会定例会において、仁多庁舎の建替え計画の調査また審査をすることを目的として、委員の定数を七名とし設置されました。

委員会構成

委員長	景山孝志
副委員長	福本修
委員	松郷益巳
	若月正芳
	内田忠男
	塔内村俊介

現在まで、六回の委員会を開催し、建設計画、財政計画などについて執行部に説明を求め、現況を把握し先例調査の必要性から視察先の選定や、視察後の集約や整理など審議を進めてきました。

【視察の実施状況】

以下、五庁舎の視察研修を実施しました。

- ① 鳥取県日南町役場庁舎
- ② 広島県庄原市役所
- ③ 埼玉県宮代町役場庁舎
- ④ 神奈川県松田町役場庁舎
- ⑤ 神奈川県山北町役場庁舎

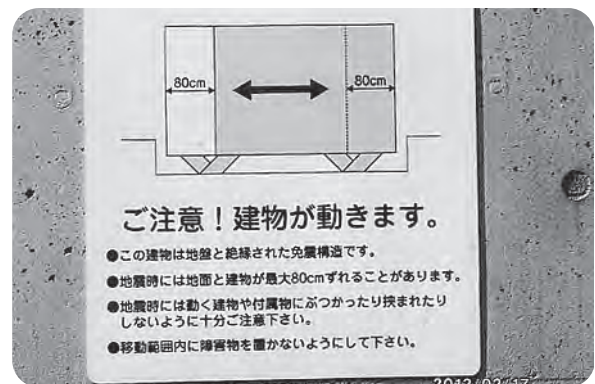
耐震構造の木造庁舎の内部のもよう(宮代町役場)



研修の目的は、各地域特別委員会の活動状況と審査の留意点また庁舎の特色として財源などといったしました。

仁多庁舎整備計画スケジュールでは、基本設計期間として本年五月より八月までの四ヶ月間が計画設定されています。

- 本委員会では基本設計にあたり町民のニーズを最優先した
- ① 誰もが利用しやすい庁舎
 - ② 防災拠点としての役割を



免震装置の採用により、地震時に最大80cmの横ずれがあることが紹介されている。(松田町役場)

- 果たす庁舎
- ③ 機能性・効率性を重視した庁舎
 - ④ 省資源・省エネルギー対策

環境に配慮した庁舎など、先進地視察研修の成果を基本設計に反映できるように、進捗状況を整理の上、適宜適切な調査・審査および提案を重ねていく考えであります。

◎視察先の比較

	人口	面積	世帯数	庁舎竣工年	構造	延床面積	総事業費	特長
鳥取県日南町	5,645人	340.87㎡	2,264戸	平成14年3月	木造平屋建て(耐震)	3,478㎡	15.8億円	町有林から3,000本の杉間伐材を確保(地上2階)
広島県庄原市	40,255人	1246.60㎡	15,863戸	平成21年2月	鉄筋コンクリート(耐震)	7,429㎡	37.4億円	空調熱源として、地中熱と木質バイオ導入(地上6階、地下1階)
埼玉県宮代町	33,252人	15.95㎡	13,241戸	平成17年1月	木造一部RC造(耐震)	4,242㎡	13.8億円	埼玉県産杉45cm角の柱を158本使用(地上2階)
神奈川県松田町	11,757人	37.75㎡	4,659戸	平成18年3月	鉄筋コンクリート(免震)	3,515㎡	13.7億円	免震装置を採用し、防災拠点施設として機能(地上4階)
神奈川県山北町	11,968人	224.70㎡	4,227戸	平成12年3月	鉄筋コンクリート(免震)	5,051㎡	18.9億円	免震装置を採用し、防災拠点施設として機能(地上4階、地下1階)